

有限会社タニグチ刺繍

刺繍製造工程統合による生産性向上と風合いの強化による

意匠面の高品質化

増加する受注に「確実に・安定して・効率よく」対応するため、設備投資を行い、製造環境を強化し、製造工程の統合により生産性の向上を図り、手刺繍の風合いを機械刺繍で再現する等、独自の風合いを付加して意匠面の高品質化を実現する。

事業取組の経緯

創業以来、主に制服への校章・企業ロゴといったワンポイントの刺繍加工を請け負ってきた。少子化による生徒数の減少による市場全体の縮小により、売上の主であった「制服向けの刺繍加工」が減少していた。現在、多くの人がSNSを通じて情報を発信するようになり、ファッションに関しても、「インスタ映え」といった流行語ができるほど、見栄えの良い服に注目が集まっている。

他の2次加工と比較しても「刺繍」の持つ特別な高級感は重要な要素であり、今後もファッションのアクセントとして刺繍へのニーズが増えると予想されることから、売上が伸びているファッション分野への強化を図ることとした。

実施内容

生産性の高い刺繍機の導入により、機械の速度向上、工程統合による加工時間の短縮に加え、従来、複数台で行っていた加工を1台で完結させた。加工時間の短縮実現や移動による人為的過誤の潜在的なトラブル発生リスクを削減することにより、稼働率の上昇に繋がった。刺繍の風合いや質感など意匠面での違いを強化し、更なる競争力向上のための研究を積み重ねた。高い進捗管理能力を活用して、限定品などの小ロットにも安定した対応を行った。属人的な工程の削減、熟練作業者が持つ暗黙知の可視化により、ノウハウをデータとして蓄積し、技術の共有や継承につなげ、安定した組織の構築を図った。

事業取組の成果

設備投資により、刺繍糸を9色以上使用する際の製造工程統合を実現した。加工に必要な刺繍機台数の削減、準備時間短縮及び生産の効率化、トラブルによる製造ライン停止回数減少、最大生産能力の向上も成果として

現れた。今後、生産性の向上、効率化がより一層見込まれる。従来は品質を安定できなかった撚りが甘い糸などの特殊な刺繍糸を使った加工も可能になった。特殊な糸は刺繍加工時に品質面での不具合が多く、生産ラインに乗せることが出来なかったが、取組みにより安定した品質で生産することが可能となった。

今後の活動予定

絶えず研究開発を行い、加工の幅を広げ「糸の風合いを追求した加工」の企画を進めていく。製造工程の統合による生産プロセスの改善と併せ、「風合い」を全面に打ち出すことで、意匠面の高品質化による優位性を最大限に活かし、既存顧客だけでなく、新規の取引先獲得によるシェア拡大や素材など新しい市場進出による売上拡大を狙う。同時にコスト面での相乗効果も図っていく。

現在、実績があるパリ・コレクション、東京コレクションに続いて、世界における各Fashion Weekでの加工依頼実績を増やし、ブランド化を図る。刺繍を通じた商品の付加価値向上を支援し、他の刺繍加工業のモデルになるように、また業界の底上げをし、地域経済の活性化に寄与できるよう更なる成長を進めていく。



今回導入したタジマ多頭式
電子刺繍機(TMCR-V1506F)

1工程の加工で最大15色の糸色が使用可能。また、従来、針の高さや糸のテンションを調整するのにネジの位置を数ミリずらす等、熟練した職人の経験や勘頼りであった微調整作業が、タッチパネル上から操作可能になり、属人的な作業工程の削減に貢献している。

有限会社タニグチ刺繍

- 代表者／代表取締役 谷口勝彦
- 本社住所／〒796-8020 愛媛県八幡浜市大字郷字向堀田 3 番耕地 10-3
- TEL／0894-24-2274 ■FAX／0894-24-2065
- URL／<http://www.taniguchi-shisyu.co.jp>
- メール（代表）／info@taniguchi-shisyu.co.jp
- 設立年月／1980 年 8 月 29 日
- 資本金額／500 万円
- 従業員数／5 人
- 業種／製造業（繊維工業）
- 事業拠点／本社工場 愛媛県八幡浜市大字郷字向堀田 3 番耕地 10-3

企業概要

愛媛県八幡浜市にある刺繍加工専門会社である。業種は、繊維業における二次加工であり、完全受注生産による刺繍製造業になる。創業以来、主に制服シャツへの校章・企業ロゴマークといったワンポイントの刺繍加工を請け負ってきた。直近ではファッション分野にも進出し、世界 4 大コレクションの 1 つであるパリ・コレクションにも携わった刺繍加工が登場した。小規模な会社ながら表現力・技術力への評判は非常に高い。

主要取引先

株式会社 CA4LA、株式会社グースカンパニー、中村ソーイング株式会社

主要商品（成果品）

	Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO（東京コレクション）でのランウェイにて。「CONSCIOUS UNCONSCIOUS（意識と無意識）」を主題に作成されたアイテム。ジークムント・フロイトの遺した言葉をシャツ全面に刺繍で施したもので、特定の文字をフリンジ加工するといった特殊な工程も行っている。
	色数を多く使用したいというリクエストから作成した刺繍。ビンテージのスカジャンでよくみられるステッチを再現し、独特な風合いを表現。 10 色以上の刺繍糸を使用することで、刺繍自体に華やかさを出すことができた作品。
	オオスズメバチを立体的な刺繍で作成。 従来の刺繍は平面が基本であったが、その常識を破り、3D にて作成。オオスズメバチ特有の腹部の風合いを表現するなど試行錯誤を繰り返して完成。羽、触角、足全ての部分を糸のみで構成。360 度全ての角度から楽しむことができるインパクトのある刺繍を生み出すことができた。
	刺繍で様々な人物を表現したいというリクエストを受け作成。人物はそれぞれ 3 センチ程度の小さな刺繍であるが、手の動きや楽器やバッグなどの小物、デニムのダメージなどの服装に至るまで、細部にわたって表現。
	テキスタイル自体からオリジナルで作成したいというリクエストを受け、企画会議から参加。生地との組み合わせ・意匠糸の作成など、何度も試作を繰り返し作成。土台となる無地の生地レース生地を重ね、その上からオリジナルの意匠糸をコード刺繍で縫い留めることで立体感のある生地を製作。

主要設備

刺繍機

担当者	システム担当 谷口寧彦
連絡先	0894-24-2274
連絡先 E-mail	yasuhiko.taniguchi@taniguchi-shisyu.co.jp